

駅周辺の将来イメージ
 “これまでのご意見を反映した方針（案）
 の提示”
 8月25日(金)18:30~20:30
 DMG MORI やまと郡山城ホール

第5回 NEWS LETTER

〒639-1198 大和郡山市北郡山町248番地4
 大和郡山市役所都市建設部都市計画課
 担当：まちづくり協定推進室
 TEL：0743-53-1151（内線672）
 E-mail：tosikei@city.yamatokoriyama.lg.jp

ワークショップの内容を市民の皆さんにお知らせするため、ニュースレターを毎回発行しています！

これまでのワークショップでのご意見をまとめた、計画の方針について検討しました！

基本計画の策定段階では最終回となる第5回ワークショップでは、これまでのワークショップで出していただいたご意見をまとめた、「駅前計画の方針（案）」と「交通計画の方針（案）」について、参加者の皆さんと共有しました。また、駅前広場の空間において「どんな活用ができるか」「どんな社会実験ができるか」について意見やアイデアを伺いました。

駅前計画の方針（案）

方針1. 公有地活用を中心としたまちづくりを進める

- 駅を北側に移設し、
 周辺施設へのアクセスを強化する
- 郡山の顔となる駅前を整備する
- 安全で安心な駅前を整備する

方針2. 人と自動車のバランスの良い駅前とする

- 適切な送迎スペースを確保する
- 現立体駐車場の建替を行う

方針3. 駅前に“市民の広場”を設置する

- 人と出会い、一緒に過ごす空間をつくる
- 仲間と活動できる空間をつくる
- 広場の賑わいや機能をまちなかとお城に繋げる

方針4. 広場空間は
 利用・運営を想定しながら計画する

- 広場は大きすぎず、使い勝手の良い空間とする
- 民間による運営で、利用される広場とする

方針5. 現在不足している機能を強化する

- 観光拠点としての機能を強化する
- 駅前という立地を活かす飲食店を誘致する
- 生活上必要な機能（買い物、子育て等施設）
 を強化する

方針6. 駅前からまちなかへまちづくりを繋げる

- 地域の資源を活かした「まちなか回遊」を促す
- リノベーションによりニーズにあった
 新たなコンテンツを生み出す

交通計画の方針（案）

方針1. 通過交通の城廻り線への誘導・地区内交通の制御

- 城廻り線を通る自動車交通の円滑化（走りやすさの実現）
- 地区内への自動車交通の流入抑制（走りにくさの維持）

方針2. 地区内における歩行者・自転車・自動車の共存

- 歩行者・自転車の通行安全と、生活上必要な自動車利用の共存を図る



駅前周辺地区の模型

今回のWSの論点

- ① 計画方針案はこれまでのWSを反映したのになっていますか？
- ② 駅前広場空間の使い方やレイアウトはどのようなものが良いですか？
- ③ 駅前広場を想定した公共空間利活用の社会実験のアイデアを出しましょう。

論点①

計画の方針案
 について

- ・おおむね、これまでのワークショップでの議論の内容が反映されている。
- ・方針内容の優先度の高い項目は、観光拠点の整備や生活必需機能の強化。
- ・「郡山の顔」は何か、具体的に示せると良い。

方針は
 おおむね賛同

論点②

駅前広場 空間の 使い方

◆日常時の広場の使い方

- ・必要な機能・空間は、**観光案内所**、**公衆トイレ**、**芝生広場**、**子どもの遊び場**、**座れるスペース**、**オープンカフェ**、自由に仕事や勉強のできる**サテライトオフィス**。
- ・広場は、子ども100人が座れる広さで、固定物を置かず平らな地面で、**様々な活動に柔軟に使える**ようなつくりが良い。
- ・滞留できる広めの広場空間(芝生)は、駅前北側に設けると良い。
- ・観光案内は、城址方面の北側に配置すると観光客は使いやすい。
- ・歩行者が雨に濡れないよう**シェルター**があると良い。
- ・常設のオープンカフェを改札の近くに配置すると良い。
- ・飲食施設はそれ程大きくせず、まちなかの店を利用するよう促す。
- ・NTT横の緑の道に合わせて**緑のスペース**があると良い。
- ・**木陰**があると良い。
- ・**郡山らしさ = 金魚**をうまく活用できると良い(金魚情報の広報、金魚モチーフなど)。
- ・広場に必要なのは、使いながらニーズに合わせて後から整備するやり方が良いと思う。
- ・**駅前に駐車場**があった方が良い。
- ・市民の**駐車場はまちのフリンジ(周縁)部**、観光客の駐車場は城址周辺に配置し、まちや駅へは歩いてアクセスすると良い。
- ・今後、現駅舎の跡地や駅南側のあり方を検討した方が良い。

観光客のための案内所
住民のための広場、座る場所
イベントのための公衆トイレ
が必要！

緑や木陰
のある環境

◆非日常時の広場の使い方～イベント/祭り～

- ・**マルシェ**や**フリーマーケット**イベントを駅舎に沿って行えると良い。
- ・緑のスペースの隣で**コンサート**が開催できると良い。
- ・イベント時に**キッチンカー**を呼ぶには、設備が必要。

イベント時に仮設物を
出しやすいような空間の設え

論点③

公共空間利活用 社会実験の アイデア

- ・**社会実験で一度やってみて市民の反応**を見てみると良いと思う。
- ・公共空間利活用社会実験の担い手を公募すると、既存のイベント関係者が使いたいと言うだろう。
- ・芝生の広場、子ども用電車を三の丸駐車場で運行、アートイベント、金魚アクアリウム、B級グルメなど



広場をつつた時に使ってくれる人の確約ができていると、賑わいを生む、より良い広場となります。そのため、最終回のワークショップで広場の使い方やその社会実験をテーマに議論していただきました。

郡山では市民主体で音楽祭などのイベントが行われています。既にあるネットワークを使って広場の利活用を想定した社会実験を実施していけると良いでしょう。

駅前にはまちの拠点なので、ここが変わると、周りのまちも変わっていく起爆剤になるでしょう。

3月～8月にかけてワークショップにご参加いただき、ありがとうございました。参加者の皆さんから貴重なご意見をいただき、有意義な会となりました。

最近、ファミリー世帯のお母さんたちから、郡山は緑が多いことやイベント・祭りが多いことが好評と聞きました。これからのまちづくりでは、様々なものとの「共存」が重要だと考えていますので、人と緑、人と自動車・自転車、そして、日常と非日常、生活と観光との共存を図って、より良いまちにしていきたいでしょう。



上田
市長
より